

① 家庭科「保育」における保育園訪問実習

3学年家庭科「保育」の学習として、学級ごと実際に保育園を訪問し、園児と話をして共に遊んだりする活動を通して、保育の体験活動を行った。コロナ禍前までは毎年行っていたが、今年度久しぶりに再会することができた。

園の子どもたちは、先生たちとは違うお兄さんお姉さんと思いきり遊ぶことができ、とても楽しんでいた。また、同園出身の生徒も多くいるため、先生方に成長の様子を直接見ていただくこともできた。

当日は園にいらっしゃった地域のお年寄りにも学園祭で発表したソーラン節を見ていただくことができ、生徒にとって大きな自信とすることができた。普段、家庭で小さい子どもと過ごしていない生徒も多く、はじめは戸惑った様子も見られたが、すぐに園児とうちとけ、共に笑顔で遊ぶ姿が印象的であった。



② 本校中庭での「ミニ交流会」の実施

保育園訪問に対するお礼として、園児が本校を訪問し、手作りのお守りや千羽鶴を届けてくれた。その際、短時間ではあったが中庭で交流会のようなものを行い、生徒は久しぶりに会った園児と笑顔で話すことができた。

いただいた千羽鶴は3年生の希望進路実現へのお守りとして廊下に飾らせていただいた。今回、園と双方向の交流を行うことができ大変ありがたかった。

③ ソーラン節への取り組みに関する交流（予定）

保育園訪問の際披露したソーラン節に園の先生方や園児が興味を持ってくださり、園で取り組むこととなったため、中学生に講師となって教えてもらいたい旨の連絡をいただいた。

3年生は受験に向けた取り組みがあるため、来年度への継続性も考え、2年生代表が園を訪問して、園児にソーラン節を教える活動を行っていく計画を立てている。

この取り組みをきっかけに、園関係の方に本校学園祭を見に来ていただいたり、逆に生徒が園の発表会を見に行ったりするような交流の深まりにつながればありがたいと感じている。また今後は、他の園との交流も図っていきたいと考えている。

